■■■■■■ 現場の管理と改善シリーズ セミナー ■■■■■■

**職場経営のリーダーシップ(技術)養成のための実践セミナー!**

組織を動かす手法・やる気を引き出すスキル!

リーダーシップ(職場づくりと動機づけ)

*「方針管理」を中心に職場経営の進め方について、また「モチベーション」を中心にメンバーの力を引き出すリーダーシップについて学びます。*

人が二人集まればチームができます。企業には部門やプロジェクトなどたくさんのチームがつくられ、それぞれが役割を担って企業の目的・目標の達成を目指しています。多様に広がるチームそれぞれにはリーダーがいます。チームリーダーの役割は、良好なチームワークを築き、チームを方向付けし、個々のメンバーの意欲とスキルを引き出すことにあります。また大きな視点から他のチームとの協力関係を形成する配慮も欠かせません。

そこで本講座は、現場リーダーを主な対象として、自らの職場の目標の設定・達成・取り組み方(全体への貢献を意識)、メンバーのやる気と能力を引き出すスキルを学びます。

人が「やる気」を高める源泉のひとつは、気づきです。本講座は、リーダーシップのスキル修得を目指すとともに、参加者の皆さんそれぞれの経験から、良いチーム、強い影響を受けたリーダーの行動の特徴の振り返りを行うなど、実践的な気づきの多い講座を目指します。

■開催日　2019年　7月　8日　(月）　 10：00～17：00　〔6時間〕

■講　師　**(一社)東海経営支援センター　副理事長**　梅村　彰 **(工学博士、中小企業診断士)**

　　　　　　　〔プロフィール〕1981年㈱リクルート入社。経理、経営管理、人事等を中心に営業・プロモーション等の職域の管理職。1996年ゲーム

携帯情報端末用ソフトウェア開発会社にUターン転職(常務取締役)。2008年独立。2015年(一社)東海経営支援センター　副理事長。

介護をはじめとするサービス業、製造業の収益性向上、企業再生等の業務の他、椙山女学園大学の非常勤講師。著書『サービス

経営　理論と応用』(三恵社) 『現場の管理と改善講座「作業標準」(共著)』（日本規格協会）他

■会　場　　四日市文化会館　　2階　第2会議室

〒510-0075 三重県四日市市安島二丁目5-3　（近鉄四日市駅 下車、徒歩 約10分）

※「現場の管理と改善シリーズ セミナー 申込書」の、“会場のご案内”を参照ください。

■受講料　 15,000円/１人（テキスト代含む、消費税別）

■申込み　 別添の、「現場の管理と改善シリーズ セミナー申込書」 に必要事項をご記載のうえ、

　　　　　　　　　ファックスにて、ご送信ください。（FAX No. 059-245-7524）

主催：一般財団法人 三重県環境保全事業団

共催：一般社団法人 東海経営支援センター

〒510-0304　三重県津市河芸町上野3258番地　TEL：059-245-7514　FAX：059-245-7524

■■　セミナー概要　■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

１

強いチーム作りとリーダーの役割

　　　（1） リーダー、リーダーシップとは

・伝統的なリーダーシップ、サーバント型リーダーシップ

・リーダーシップとフォロワーシップ

・カッツモデル(リーダーに必要な基本スキル)

　　　　（2） チームの役割

　　　　　　　・計画する　　・リードする　　・チームの力を引き出すリーダーシップ

　　　　（３）【演習】

・チームとは(良いチームの特徴)

・強いチーム、良いチームで経験したリーダーシップ

2

職場経営の進め方

　　　　（1） 経営管理活動の進め方

　　　 1) 事例紹介 (企業理念から日常管理への連動)

　　　 2) Plan-Do-Check-Actサイクル

　　　　（2） 方針管理とその進め方

　　　　　 　1) 長期経営計画の理解

2) 方針管理の基本的な進め方

　　　　　 　3) 日常管理・目標管理の進め方

4) 管理項目の運用

5) 短期経営計画の策定とPDCA

6) 製造部門の日常管理

　　　　　 　　　・工程改善の視点ECRS 　　・多工程持ち　　・多能工化　　　・設備総合稼働率他

7) 行動計画の立て方

8) 部門間対立の対処の仕方

　　・対立の発生原因の理解

　　・対立の解決の仕方

３

部下の力を引き出すリーダーシップ

　（1） サービス・プロフィット・チェーン図

　　　 ・業績、顧客満足、従業員満足との相関関係

　　　　（2） 従業員満足の主要要因とリーダーシップの発揮

　　　　　 1) 良い職場環境づくり

2) 権限委譲の進め方

　　　　　 　3) 動機づけの仕方